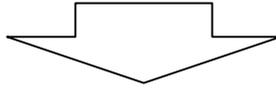


テーマパーク来場者の公共交通機関 利用誘導実験(大分県日出町)の概要

(平成13年10月～平成15年9月)

背景

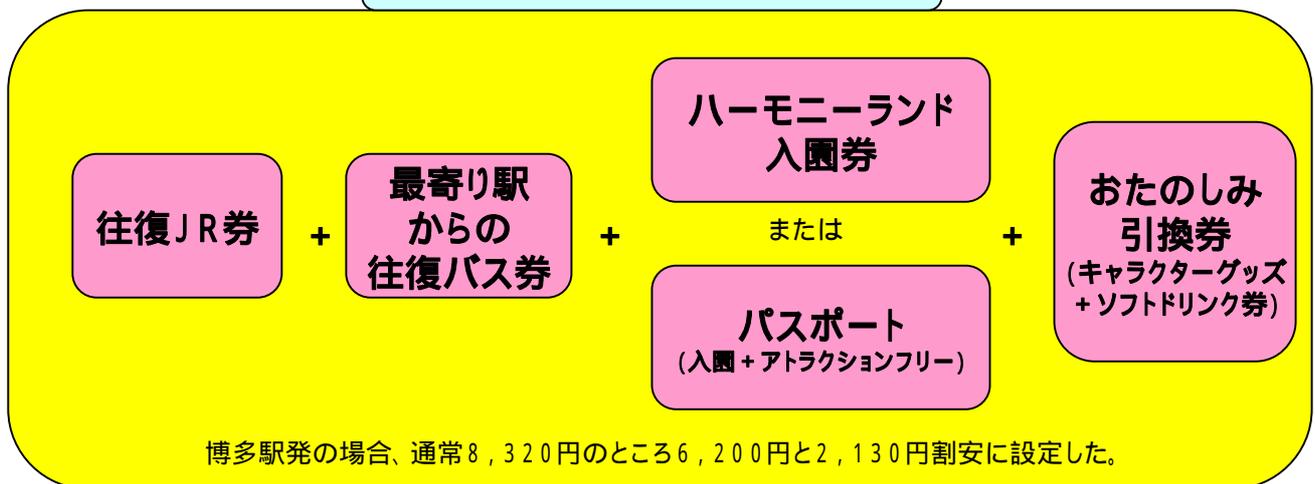
大分県日出町にあるテーマパーク「ハーモニーランド」は、近隣に鉄道駅がなく、自家用車による来園が約9割となっている。この結果、土・日曜日を中心に、大分市、別府市とハーモニーランドを結ぶ唯一の道路である国道10号線において渋滞が発生しており、特にゴールデンウィーク時には10キロに及ぶ大渋滞が発生するに至った。



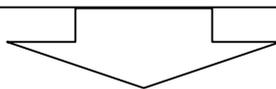
実験の概要

テーマパーク(ハーモニーランド)周辺におけるマイカー来園者による交通渋滞を緩和するため、町によるマイカー自粛よびかけを実施した上で、来園者の公共交通機関利用が促進されるよう、鉄道事業者及びテーマパークが共同して入園料割引と鉄道割引等を組み合わせ販売するとともに、バス事業者が駅から列車到着時刻に合わせた接続バスを運行する。

ハーモニーランド土休日割引きっぷ

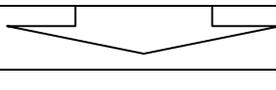


実施主体:ハーモニーランド周辺渋滞対策協議会(大分県、日出町、大分交通株式会社、九州旅客鉄道株式会社、株式会社ハーモニーランド)



実験の成果

割引きっぷの利用者は平成14年度で1,588人、平成15年度で967人であった。
接続バスの運行体系の見直しを行い、利用者は、実験前の13年度の7,800人から14年度9,200人と前年比18%の増加があった。
連休中の大きな渋滞は発生しなかった。



実験後の状況

平成15年9月で実験終了。
接続バスの採算性が厳しく継続実施はしていない。